

指定管理者事業報告書（令和 4 年度末報告）

令和 5 年 4 月 3 0 日 提出

担当課	高齢者福祉課
-----	--------

施設名	三原市デイサービスセンターさぎうら	連絡先	084-928-0503
指定管理者団体	団体名	特定非営利活動法人 地域の絆	
	代表者名	代表理事 中島 康晴	
	所在地	福山市木之庄町四丁目 5 番 2 5 号	

1 職員体制（人数欄のうち（ ）内は非常勤職員の内数）

職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数
管理者 （生活相談員・介護職兼務）	1人（ 人）	1人	介護職員	1人（ 1人）	0人		人（ 人）	人
生活相談員 （介護職兼務）	1人（ 人）	1人	調理員	2人（ 2人）	0人		人（ 人）	人
看護職員 （機能訓練指導員兼務）	3人（ 2人）	1人		人（ 人）	人		人（ 人）	人
常勤職員（合計）	3 人		非常勤職員 （合計）	5 人				

2 開館日・開館時間・利用状況等

	実施計画【年間ベース】 α	実績【年間実績】 β	達成率 $\beta \div \alpha$	自己 評価	市担当課評価	
					評価	評価の内容
開館日	月～金 第1,3土曜日	月～金 第1,3土曜日		A	A	計画どおり実施できている。
開館日数(X)	280	280	100.0	A	A	計画どおり実施できている。
開館時間	8:00～16:00	8:00～16:00		A	A	計画どおり実施できている。
延べ利用者数 ($Y=a+b$)	2,800	2,275	81.3	B	A	計画を下回る結果となったが、コロナ禍の中での実績は十分である。
うち通常業務(a)	2,800	2,275	81.3	B	A	計画を下回る結果となったが、コロナ禍の中での実績は十分である。
うち自主事業(b)	0	0	—	C	C	コロナ禍の情勢下で難しい面もあるが、地域貢献及び利用者確保のためにも自主事業の計画・実施を期待する。
延べ利用日数(Z)	280	280	100.0	A	A	計画どおり実施できている。
稼働率①	66.7	54.2	81.3	B	A	計画を下回る結果となったが、コロナ禍の中での実績は十分である。

※1 稼働率の計算式(単位:%)

① 利用者数で稼働率を算定する場合の計算式

利用者数(Y) ÷ 開館日数(X) ÷ 利用定員(1日あたり 15 人) × 100

② 施設の区分ごとの利用日数で稼働率を算定する場合の計算式 利用日数(Z) ÷ 開館日数(X) × 100

※2 稼働率欄の()内には、使用した計算式に応じ、①又は②と記入すること。

※3 施設の区分ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表1に記入すること。

※4 曜日ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表2に記入すること。

別表1 施設の区分ごとの利用件数・利用者数・稼働率

	実施計画【年間ベース】			実績【年間実績】		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
通所介護事業	419	2,800	66.7	341	2,275	54.2
合計	419	2,800	66.7	341	2,275	54.2

別表2 曜日ごとの利用者数・稼働率

	平日 (243 日)			土日祝日 (37 日)			通年 (280 日)		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
通所介護事業	307	2,046	56.1	34	229	41.3	341	2,275	54.2
							0	0	
							0	0	
合計	307	2,046	56.1	34	229	41.3	341	2,275	54.2

3 事業評価

項目	事業計画書の概要	自己評価		市担当課評価	
		評価	B以下の場合、改善・課題の具体的内容	評価	評価の内容
1 施設管理体制	職員配置	A		A	適切に配置されている。
	職員研修	B	事業所内の勉強会は行っているが、グループ内研修への参加率を増やしていく。	B	動画視聴やオンラインによる研修体制を整える等により、グループ内研修への参加を促すよう努めていただきたい。
	利用促進業務	B	コロナ禍で思うように進められていない。	B	情勢を見極めながら、利用促進に努めていただきたい。
	設備・備品管理	A		A	設備の老朽化が進む中、軽微な修繕を自主的に実施する等、適切に管理されている。
	現金管理	A		A	適切に実施されている。
	安全体制管理	A	センター内の消毒の徹底。	A	適切に実施されている。
	緊急時の対応	A	コロナ感染陽性・濃厚接触者の扱いとなった場合は保健所の指示に従う。	A	適切に実施されている。
2 利用者に関する業務	利用状況	B	引き続き体調管理の声掛け注意喚起を行う。緊急事態宣言等の措置があった場合は、臨機応変な対応をする。	A	計画を下回る結果となったが、コロナ禍の中での実績は十分である。
	利用料金の設定	A		A	適切に実施されている。
	接客対応	A		A	適切に実施されている。
	個人情報保護	A		A	適切に実施されている。
3 施設維持管理状況	保守点検業務	A		A	適切に実施されている。
	清掃等維持管理業務	A		A	適切に実施されている。
4 実施事業	企画運営事業	C	昨年に引続きコロナ禍での地域交流事業の実施ができていない。	C	コロナ禍の情勢下で難しい面もあるが、地域貢献及び利用者確保のためにも地域交流事業の計画・実施を期待する。
	自主事業	C	昨年に引続きコロナ禍での自主事業展開はできていない。	C	コロナ禍の情勢下で難しい面もあるが、地域貢献及び利用者確保のためにも自主事業の計画・実施を期待する。
	通常事業の内容				
	自主事業の内容				

4 事業収支

		実施計画	決算	備考	市担当課評価
【収入】 合計		36,050,000	32,308,696		<p>【収入】 32,308,696円 (昨年度33,613,400円) 介護保険料、指定管理料、離島サービス補助、食費・雑入で構成。新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少が利用料金収入の減少につながったと考えられる。</p> <p>【支出】 29,630,371円 (昨年度27,241,150円) 原油価格や物価の高騰により、事業費や施設維持管理費等の経費が増加している。また、職員の増員及び昇級により人件費も増加している。 一方で事務費等は抑制されており、削減努力がうかがえる。</p> <p>【収支】 2,678,325円 (昨年度6,372,250円) 収支結果は収入の減少、支出の増加により、昨年から大幅な減となったものの、黒字を維持できている。</p> <p>世界的な情勢の変動で、原油価格や物価が高騰したことにより光熱水費に関する料金等が大幅に上がった影響から支出が増加した。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少したことから利用料金収入が減少し、指定管理者にとって管理運営の難しい年となったと思われるが、そのような状況の中でも収支は黒字を維持できている。</p>
利用料金		26,250,000	20,700,096	介護保険請求、利用者負担	
自主事業収入		0	0		
指定管理料		9,000,000	9,000,000	管理運営委託料	
その他		800,000	2,608,600	補助金、その他雑収入	
【支出】 合計		36,050,000	29,630,371		
人件費		22,000,000	20,643,441		
	常勤	10,000,000	9,609,522	常勤3名分	
	非常勤	12,000,000	11,033,919	非常勤5名＋事務職員分	
事務費		1,300,000	727,517		
	消耗品費	1,300,000	727,517	事務・消耗品費・支払手数料等	
	備品購入費	0	0		
事業費		5,500,000	4,057,838		
	通常業務	5,500,000	4,057,838	食材・会議費・交通費・広告宣伝費等	
	自主事業	0	0		
施設維持管理費		3,750,000	3,198,475		
	設備管理費	550,000	257,000	衛生管理費他	
	保安警備費	0	0		
	光熱水費	2,700,000	2,521,227	電気代・水道代・ガス代	
	修繕費	500,000	420,248	車両含む	
その他		3,500,000	1,003,100		
		700,000	393,429	保険料等	
		2,800,000	609,671	減価償却費・租税公課・その他雑費	
【収 支】		0	2,678,325		
支出のうち委託費		0	0		

5 利用者等からのクレーム対応等（具体的事例を簡潔に）

主な内容	回答	対応措置	対応に対する反応	検証
住民が、コロナ禍での運営の継続をして良いのか。閉鎖の要望等ご指摘をいただいた。三原市の担当者へも同様にご連絡をされた。	当法人としては、継続的に支援が必要な方への安心・安全な施設運営をしており、施設において感染拡大のない状態での閉鎖をすることは出来ない。感染対策も徹底しており運営にご理解をしていただきたい。とお伝えした。	町内会長や地域の方にもご協力をいただき、ご指摘をいただいた方にお話をさせていただいた。	ご納得・ご理解をいただいた。	感染拡大への懸念から人が集まる場所を開けておくことへの批判的な意見が一定数あることは仕方が無いものとする。丁寧な説明でご理解いただいたことは評価できる。

※ 検証欄は、担当課が検証・分析を行い、記入すること。

6 運営上の課題、市への要望等(ご自由にお書きください。)

内容	担当課回答
<p>令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、対外的な活動や事業所内での活動にも制限をせざるを得ない状況が続き、ご利用者へご不便をお掛けしている。令和5年5月8日から5類感染症移行を受け、ご利用者・職員の感染対策等神経を使いながら活動を順次再開を行う予定としているが、今後も予断なく感染対策を継続していく必要がある。</p>	<p>職員の感染，そこからの二次感染が起こらないよう，引き続き徹底した対策に努めていただきたい。5類移行後の感染状況の情報が得にくい状態であるが，動向を注視しながら適切な対応をお願いする。</p>
<p>昨年同様、島しょ部での人材確保に限りがあり、多くの利用者を増やし収支状況をとる事が難しい状況である。求人媒体、知人からの紹介等も含め対応をしているが民間の努力だけではなかなか改善するには至らず、支援を受けながら運営をしていかざるを得ない状況である。特にコロナ禍の現状では活動自体も制限があったため令和5年度も引き続き支援をお願いしたい。</p>	<p>離島という立地条件から人材の確保，利用者の増加が困難であることは理解できる。引き続き，人材の確保，利用者の増加に努めていただきたい。行政としてもできる限りの支援はさせていただく。</p>
<p>人材確保や財政面においても、事業所の広報活動が必要であるが、令和5年度は「コロナ禍」から「withコロナ」へ移行するがまだまだ情報収集にも制限がある場合もあり、島しょ部の難しさも影響し引き続き支援をお願いしたい。</p>	<p>離島という立地条件から人材の確保，利用者の増加が困難であることは理解できる。引き続き，人材の確保，利用者の増加に努めていただきたい。行政としてもできる限りの支援はさせていただく。</p>
<p>施設および設備・備品関係の老朽化により、修理や買い替え等が必要になることが予測され、高額になる場合は支援をお願いしたい。</p>	<p>責任分担に従って適切に対処する。令和6年度から令和8年度の間空調設備及び特殊浴槽の更新を予定している。</p>

7 市担当課総合評価

<p>新型コロナウイルス感染症の収束がみられず、前年度から引き続き活動が制限された中での運営となり、このような状況で利用者数が減少となることはやむを得ない。引き続き徹底した感染症対策に取り組み、BCPを適切に作成し、感染症のまん延した状況であっても安心して利用できる体制を維持することで、利用促進に努めていただきたい。</p> <p>令和5年から新型コロナウイルス感染症が5類に移行されることに伴い、これまでの制限の緩和が予想される中、地域を盛り上げる活動としての自主事業の計画・実施に取り組んでいただきたい。</p>
